

令和3年9月3日
西部農林水産振興センター県央事務所大田農業部

標 題 鳥獣被害対策「サル被害」研修会を開催しました。

(ダイジェスト)

大田農業部管内の鳥獣被害対策モデル地区に指定されている3地区で、鳥獣被害対策「サル被害」研修会を開催しました。大田市内のサル被害は、近年急速に拡大しており、被害対策が求められています。

大田市の三瓶地域や水上地区は、これまで「はぐれザル」といわれる2～3頭単位のサルは以前から見かけることはあったものの、親子連れの大きな群れの生息は確認されていませんでした。4、5年前からサルによる農作物の被害が発生していましたが、小規模な野菜ほ場が中心で個々の被害面積が小さかったことから、被害金額が把握しづらい状況にあります。

鳥獣被害対策モデル地区に指定された3地区は、近年「白ねぎ」栽培に取り組んでおり、去年はサルによる被害が発生している地域です。そこで、県央事務所鳥獣害対策チーム林業部鳥獣担当を講師として、鳥獣被害対策「サル被害」研修会を開催しました。

研修会では、サルの生態、運動能力、食べ物に対する執着や農地に隣接する柿の木の除去などの講義がありました。質疑では、サルを追い払う方法や防除柵の設置方法など様々な質問がありました。

モデル地区については、防除柵の設置方法や管理など今後も継続して指導をする計画です。



志学地区（加瀬）での研修会



水上地区(三久須)での研修会